

2016/7～2016/9

# にっしん景況レポート

Vol.

2

2016/10 ISSUE



日新信用金庫では、当金庫営業エリア内で事業を営む経営者の皆様からご協力をいただき、平成28年7～9月の景気の現状と平成28年10～12月期の見通しを調査する景気動向調査を実施しました。対象業種は、製造業、卸売業、小売業、サービス業、建設業、不動産業の6業種です。

## 〈調査概要〉

1. 調査対象期間 : 平成28年7～9月の実績(9月については予想)  
平成28年10～12月の見通し
2. 調査方法 : 営業店調査員による面接聴き取り
3. 調査対象先 : 当金庫営業エリア内の358社
4. 分析方法 : D.I.という指標を用いた分析。  
D.I.とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、各質問項目について、「増加(良い、上昇)」とプラスの回答をした企業の割合(%)から、「減少(悪い、下降)」とマイナスの回答をした企業の割合(%)を差引いた指標で、構成比の差が判断D.I.となります。  
各回答がプラス、マイナスどちらの方向に向かっているか、上向きの力が強いのか、下向きの力が強いのかを示す指標となります。
5. 期間について : 今期 = 平成28年7～9月  
前期 = 平成28年4～6月  
前年同期 = 平成27年7～9月  
来期 = 平成28年10～12月
6. 業種別、地区別回答数

	地区合計	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
明石地区	150	48	22	17	24	19	20
三木地区	55	17	11	6	8	9	4
神戸地区	153	24	24	17	40	26	22
業種合計	358	89	57	40	72	54	46



日新信用金庫

The Nissin shinkin bank

## ● 今期の景況

今期（平成28年7～9月）の全業種における業況判断D.I.は▲3.1となり、前期実績と比して0.9ポイントの低下となった。

売上額判断D.I.は前期比4.5、前年同期比7.0となり、前期実績と比してそれぞれ1.1ポイント、2.5ポイント改善した。収益判断D.I.は前期比7.0、前年同期比6.2となり、前期実績と比してそれぞれ9.0ポイント、3.1ポイントの改善となった。

販売価格判断D.I.は前期比0.3となり、「上昇」と回答した企業が「下降」と回答した企業をわずかに上回った。仕入価格判断D.I.は11.3となり、「上昇」と回答した企業が多い結果となったが、前期実績と比して7.9ポイントの低下となっており、「上昇」と回答した企業の割合は減少した。

資金繰り判断D.I.は前期比▲0.3となり、資金繰りを「苦」と感じている企業の割合がわずかに多い結果となったが、前期実績と比しては1.4ポイントの改善となっている。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲34.4となり、前期実績よりも7.2ポイント低下した。人手不足感は前期よりも更に強い状況となっている。

地区別の業況判断D.I.は、明石地区が▲8.7、三木地区が1.8、神戸地区が0.7となり、明石地区のみ業況判断「悪い」が「良い」を上回る結果となった。業種別では、不動産業がいずれの地区でも好調な結果となり、特に三木地区で75.0と非常に好調な結果となった。建設業も全ての地区で景況感マイナスとならず、好調な結果となっている。卸売業は全ての地区で景況感マイナスとなり、全業種の中で最も業況判断が「悪い」と答えた企業が多い業種となった。

## ● 来期の見通し

来期（平成28年10～12月）の予想業況判断D.I.は、8.4と今期実績▲3.1から11.5ポイント改善する見通しとなっている。売上額の予想判断D.I.は17.7、収益の予想判断D.I.は11.5となり、いずれも大幅に改善する見通しとなっている。

### 〈「御社の業況」回答数〉

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	合計
回答数	18	63	185	78	14	358
回答割合	5.0%	17.6%	51.7%	21.8%	3.9%	100%

$$\text{業況判断D.I.} = 22.63\% - 25.70\% \div \mathbf{\blacktriangle 3.1}$$

### 〈全業種総合主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲2.2	▲3.1	8.4	販売価格(前期比)	1.1	0.3	2.5
売上額(前期比)	3.4	4.5	17.7	仕入価格(前期比)	19.2	11.3	11.6
売上額(前年同期比)	4.5	7.0	—	資金繰り(楽-苦)	▲1.7	▲0.3	0.6
収益(前期比)	▲2.0	7.0	11.5	人手不足(過剰-不足)	▲27.2	▲34.4	▲35.9
収益(前年同期比)	3.1	6.2	—				

### 〈平成28年7～9月地区別業況判断D.I.〉

	全業種	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
明石地区	▲8.7	▲25.0	▲27.3	11.8	▲25.0	15.8	30.0
三木地区	1.8	5.9	▲18.2	▲33.3	▲25.0	33.3	75.0
神戸地区	0.7	▲8.3	▲8.3	5.9	5.0	0.0	9.1
全地区	▲3.1	▲14.6	▲17.5	2.5	▲8.3	11.1	23.9

● 今期の景況 .....

今期の業況判断D.I.は▲14.6となり、前期実績と比して13.5ポイントの低下となった。

売上額、収益における前年同期比のD.I.が、前期実績よりもそれぞれ12.4ポイント、2.2ポイント低下しており、資金繰り判断D.I.も前期実績プラスからマイナス水準へと転じている。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲24.7となり、前期実績から更に7.7ポイント低下しており、人手不足感が非常に強い状況となっている。

● 来期の見通し .....

来期の予想業況判断D.I.は1.1と今期実績▲14.6から15.7ポイント改善する見通しとなっている。

売上額の予想判断D.I.は18.2、収益の予想判断D.I.は9.1となり、いずれも大幅に改善する見通しとなっている。

〈 製造業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲ 1.1	▲ 14.6	1.1	販売価格(前期比)	▲ 12.6	▲ 10.2	2.3
売上額(前期比)	▲ 9.1	▲ 9.1	18.2	仕入価格(前期比)	11.5	8.0	11.5
売上額(前年同期比)	1.1	▲ 13.5	—	資金繰り(楽-苦)	4.5	▲ 3.4	▲ 4.5
収益(前期比)	▲ 12.5	▲ 6.7	9.1	人手不足(過剰-不足)	▲ 17.0	▲ 24.7	▲ 26.1
収益(前年同期比)	4.5	▲ 6.7	—				

● 今期の景況 .....

今期の業況判断D.I.は▲17.5となり、前期実績と比して15.7ポイントの低下となった。

売上額判断D.I.は前期比▲1.8となり、前期実績と比して28.6ポイント低下してマイナス水準となった。販売価格判断D.I.は前期実績10.7から0.0となり、来期の見通しはマイナス水準を予想するなど販売価格は「下降」傾向となっている。

人手不足判断D.I.は▲24.6となり、前期実績に引続き人手不足感は強い状況となっている。

● 来期の見通し .....

来期の予想業況判断D.I.は、▲7.1と今期実績▲17.5から10.4ポイント改善する見込みだが、業況は「良い」よりも「悪い」と予想する企業の割合が多い結果となっている。

〈 卸売業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲ 1.8	▲ 17.5	▲ 7.1	販売価格(前期比)	10.7	0.0	▲ 3.5
売上額(前期比)	26.8	▲ 1.8	14.0	仕入価格(前期比)	14.3	3.5	5.3
売上額(前年同期比)	10.7	17.5	—	資金繰り(楽-苦)	▲ 9.1	▲ 7.0	▲ 10.5
収益(前期比)	16.1	5.3	0.0	人手不足(過剰-不足)	▲ 21.4	▲ 24.6	▲ 19.3
収益(前年同期比)	8.9	3.5	—				

### ○ 今期の景況

今期の業況判断D.I.は2.5となり、前期実績と比して29.3ポイントの大幅な改善となった。

収益面では、売上額判断D.I.は前期比12.5、前年同期比7.5となった。また、収益判断D.I.は前期比10.0、前年同期比7.5となり、全て前期実績マイナスからプラスに改善した。

資金繰り判断D.I.は▲15.0とマイナス水準であるものの、前期実績と比して9.4ポイントの改善となっている。

人手不足判断D.I.は▲22.5となり、前期実績に引続き人手不足感は強い状況となっている。

### ○ 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は、15.0と今期実績2.5から12.5ポイント改善する見通しとなっている。

資金繰りの予想判断D.I.は、▲5.0とまだマイナス水準の予想だが、前期実績▲24.4、今期実績▲15.0、来期見通し▲5.0と、少しずつ資金繰りを「苦」と考える企業よりも「楽」と考える企業の割合が増加している。

#### 〈小売業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲26.8	2.5	15.0	販売価格(前期比)	7.3	10.0	0.0
売上額(前期比)	▲4.9	12.5	12.5	仕入価格(前期比)	24.4	22.5	7.5
売上額(前年同期比)	▲4.9	7.5	—	資金繰り(楽-苦)	▲24.4	▲15.0	▲5.0
収益(前期比)	▲7.3	10.0	10.0	人手不足(過剰-不足)	▲26.8	▲22.5	▲22.5
収益(前年同期比)	▲7.3	7.5	—				

### ○ 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲8.3となり、前期実績と比して5.8ポイントの改善となった。

売上額判断D.I.は前期比4.2となり、前期実績と比して7.0ポイントの改善となった。収益判断D.I.は前期比13.9となり、前期実績と比して22.4ポイントの改善となった。

資金繰り判断D.I.は▲5.6となり、前期実績と比して4.2ポイントの低下となり、資金繰りは「苦」と回答した企業の割合が増加した。

### ○ 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は8.3と今期実績▲8.3から16.6ポイント改善する見通しとなっている。

資金繰りの予想判断D.I.は、▲6.9となり、今期実績▲5.6から1.3ポイント低下する見通しとなっている。

#### 〈サービス業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲14.1	▲8.3	8.3	販売価格(前期比)	4.2	6.9	4.2
売上額(前期比)	▲2.8	4.2	18.1	仕入価格(前期比)	12.9	1.4	5.6
売上額(前年同期比)	15.5	16.9	—	資金繰り(楽-苦)	▲1.4	▲5.6	▲6.9
収益(前期比)	▲8.5	13.9	18.1	人手不足(過剰-不足)	▲47.9	▲61.1	▲63.9
収益(前年同期比)	9.9	11.3	—				

### ○今期の景況

今期の業況判断D.I.は11.1となり、前期実績と比して7.4ポイントの低下となった。

売上額判断D.I.は前期比9.3となり、前期実績と比して1.8ポイントの低下となった。収益判断D.I.は前期比▲1.9とマイナス水準となり、前期実績と比して5.6ポイントの低下となった。

資金繰り判断D.I.は9.3となり、前期実績と比して7.4ポイントの改善となり、資金繰りは「楽」と回答した企業の割合が増加した。

人手不足判断D.I.は▲38.9となり、人手不足感は非常に強い状況が続いている。

### ○来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は31.5と今期実績11.1から20.4ポイントの大幅な改善となる見通しである。売上額、収益の予想判断D.I.も来期は大幅な改善が予想されており、明るい見通しとなっている。

人手不足の予想判断D.I.は、▲50.0となり、人手不足感は引き続き非常に強い状態が続く見通しとなっている。

#### 〈建設業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	18.5	11.1	31.5	販売価格(前期比)	0.0	▲1.9	9.4
売上額(前期比)	11.1	9.3	32.1	仕入価格(前期比)	29.6	16.7	20.8
売上額(前年同期比)	▲7.4	▲1.9	—	資金繰り(楽-苦)	1.9	9.3	17.0
収益(前期比)	3.7	▲1.9	24.5	人手不足(過剰-不足)	▲27.8	▲38.9	▲50.0
収益(前年同期比)	▲13.0	0.0	—				

### ○今期の景況

今期の業況判断D.I.は23.9となり、業種別の業況判断D.I.において、最も高いプラス数値となった。売上額判断D.I.は前期比26.1となり、前期実績と比して19.7ポイントの改善となった。収益判断D.I.は前期比32.6となり、前期実績と比して28.3ポイントの改善となった。

資金繰り判断D.I.は23.9となり、前期実績と比して13.3ポイントの改善となり、資金繰りは「楽」と回答した企業の割合が大幅に増加した。

### ○来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は8.7と今期実績23.9から15.2ポイントの低下となっている。売上額、収益の予想判断D.I.も低下する見通しであり、今期の好調な業況に反して慎重な見通しとなっている。

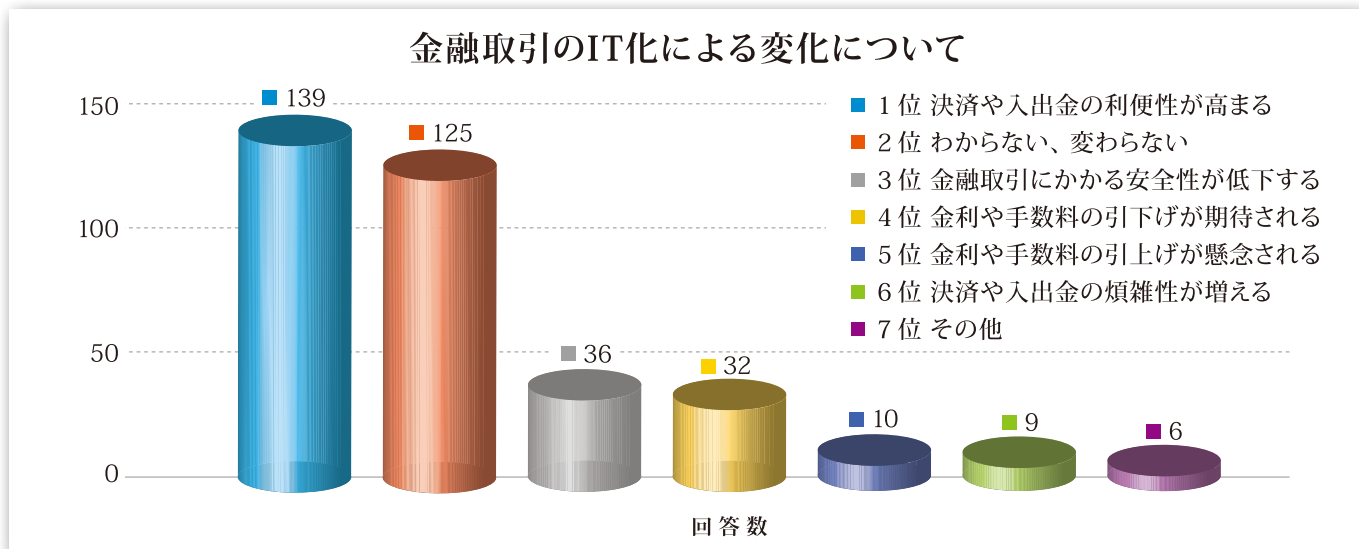
#### 〈不動産業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	10.6	23.9	8.7	販売価格(前期比)	6.4	4.3	2.2
売上額(前期比)	6.4	26.1	8.7	仕入価格(前期比)	32.6	26.1	21.7
売上額(前年同期比)	8.5	28.3	—	資金繰り(楽-苦)	10.6	23.9	21.7
収益(前期比)	4.3	32.6	6.5	人手不足(過剰-不足)	▲21.7	▲28.3	▲26.1
収益(前年同期比)	10.6	32.6	—				

●金融機関取引のIT化に関して

現状の金融機関取引がIT化していくことで、どのような変化が起こるかを質問したところ、357社中139社が「決済や入出金の利便性が高まる」と回答している一方で、ほぼ同等数の企業が「わからない・変わらない」と回答している結果となった。

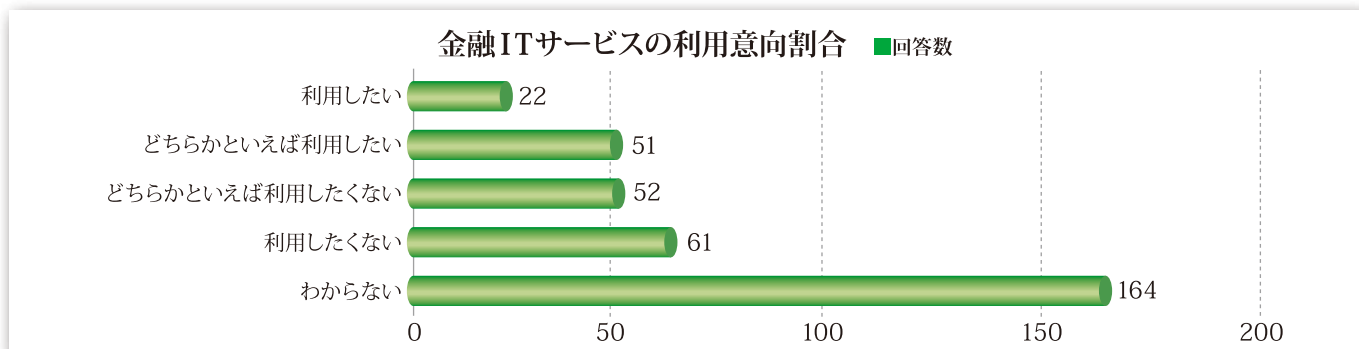
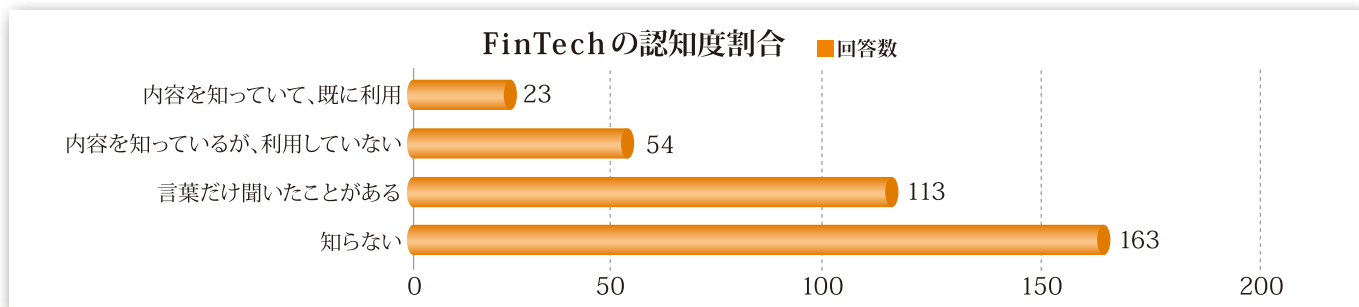
また「金融取引にかかる安全性が低下する」と懸念している企業が36社あり、近年急増しているサイバー犯罪への不安を感じている企業も見られる結果となった。



●IT化の進展に伴う金融サービスに関して

「金融とITの融合（フィンテック）」の認知度を質問したところ、353社中半数近い163社が「知らない」と回答し、113社が「言葉だけ聞いたことがある」と回答する結果となった。「金融とITの融合（フィンテック）」という言葉は、まだ一般に広く浸透していないことがうかがえる結果となった。

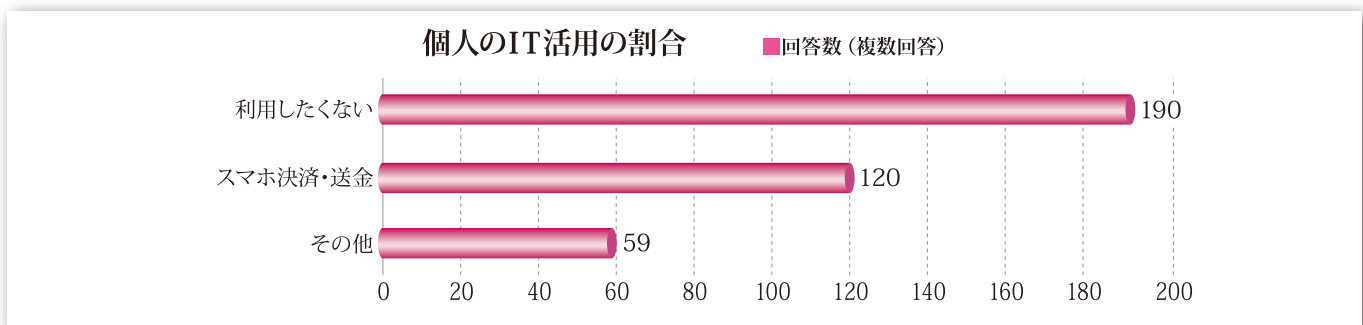
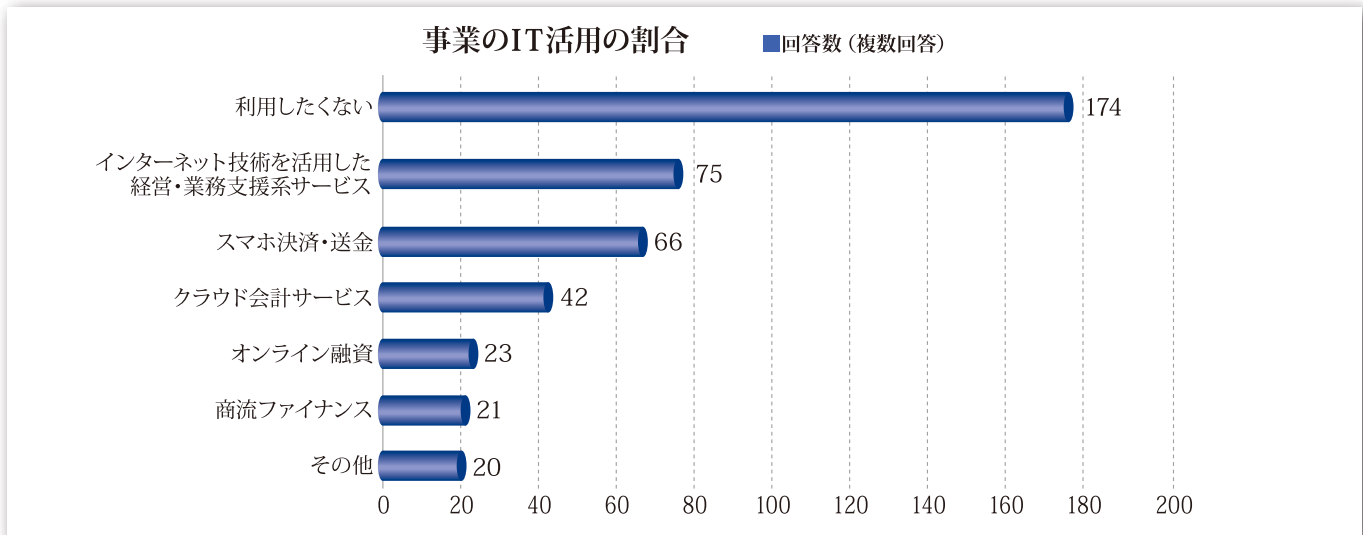
また、ITを活用した金融サービスをビジネスで積極的に活用したいかを質問したところ、350社中164社が「分からない」と回答し、「利用したい」と答えた企業は22社に留まる結果となった。フィンテックを含めた金融ITサービスの普及には、ある程度時間が必要と思われる結果となった。



## ○ITを活用した金融サービスの利用に関して

事業、個人それぞれにおいて、金融サービスにどの程度ITを活用しているかを質問したところ、事業、個人ともに「利用したくない」という回答が最も多い結果となった。

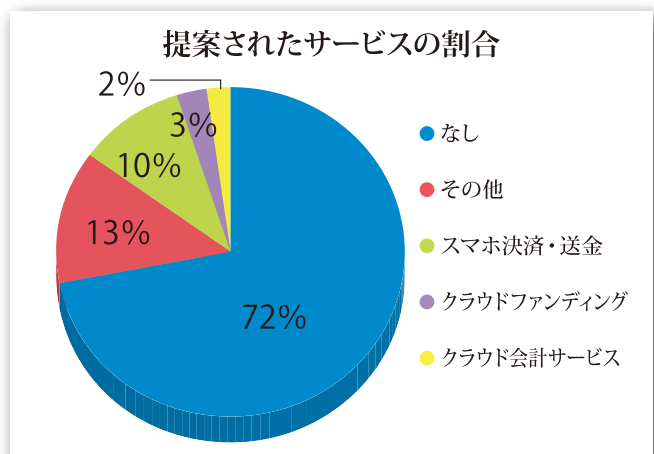
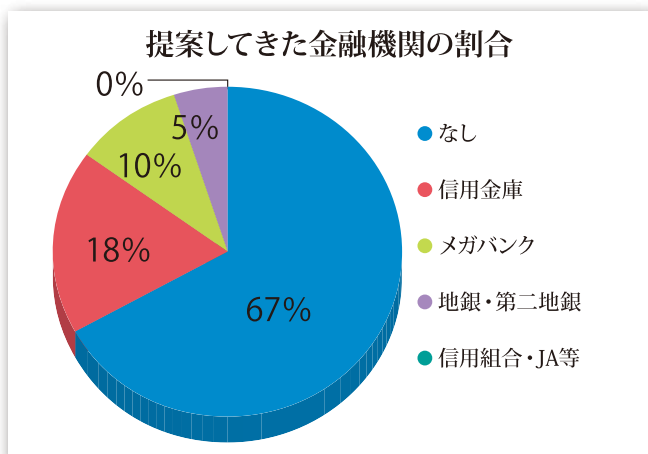
「利用したくない」以外の回答として、「スマホ決済・送金」については事業、個人ともに多い回答数となり、また事業においては、「インターネット技術を活用した経営・業務支援系サービス」、「クラウド会計サービス」等を活用している企業も一定数見られる結果となった。



## ○金融サービス利用の勧奨に関して

取引金融機関から事業上でITを活用した金融サービスの利用を勧奨されたことがあるかを質問したところ、67%の企業が「提案されたことがない」と回答する結果となった。

提案されたサービスの内容についても、「クラウドファンディング」や「クラウド会計サービス」等の提案はわずかであり、まだ金融機関からの積極的な提案も活発には行われていない結果となった。



# 〈にしん〉からのお知らせ

## 〈イベント関連〉

### 中小企業の若手社員を集めた合同研修会を実施します。

明石商工会議所との共催で、新入、若手社員の合同フォローアップ研修会を実施します。本研修会では、入社後の問題点の解決や、現場の経験を踏まえた基本の再確認、また、新たな成長目標の設定で、いち早く“一人前のプロ社員”に育てることを目指します。

- 日 時：平成28年11月11日（金）9：30～17：30
- 会 場：明石商工会議所 7階ホール
- 対 象：中小企業に勤務する30歳未満の新入・若手社員  
※具体的な内容、参加費等については当庫ホームページに掲載しています。

### 経営に役立つセミナーを実施します！

当庫のお客様向けに以下のとおり経営に役立つセミナーを実施します。詳しくはお取引店までお問合せください。

- フェイスブック活用セミナー  
日 時：平成28年11月15日（火）13：30～16：00  
場 所：日新信用金庫 神戸支店4階会議室
- 顧客目線で考える商品・サービス企画  
日 時：平成28年12月7日（水）15：00～17：00  
場 所：日新信用金庫 神戸支店
- Instagram活用セミナー  
日 時：平成28年11月22日（火）13：30～16：00  
場 所：日新信用金庫 本店8階会議室
- 問題解決力、会議・プレゼン力UPの思考法  
日 時：平成28年12月14日（水）15：00～17：00  
場 所：日新信用金庫 魚住支店
- 決算書の仕組みと資金繰り  
日 時：平成28年11月24日（木）15：00～17：00  
場 所：日新信用金庫 本店8階会議室

### 新春吉本バラエティーショー観劇会を実施します！

今年度も神戸国際会館にて「新春吉本バラエティーショー」を開催します。11月からご案内を開始する予定ですので、ぜひご来場ください。

- 実施日：平成29年1月5日（木） 2回公演  
1回目公演 10：30～13：00（予定）  
2回目公演 15：00～17：30（予定）
- 場 所：神戸国際会館「こくさいホール」



このたびは、第2回中小企業景気動向調査にご協力いただきまして誠にありがとうございました。調査結果についてのご照会、またご不明点等ございましたら、下記フリーダイヤルまでお問合せください。

 **日新信用金庫**

〒673-0892 兵庫県明石市本町2丁目3番20号

フリーダイヤル イコー ニッシンバンク  
 **0120-15-2489**

（受付時間）平日午前9時から午後5時まで